

高校・大学・社会

— 学びと成長の10年を追う —

2022. **10.1** (土) 13:00 - 17:00

会場：浅草橋ヒューリックホール&オンライン同時開催
(東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル)

プログラム (予定)

第1部 学校と社会をつなぐ調査 最終調査分析報告

(1) 調査の概要、結果概要報告

溝上慎一先生 (桐蔭学園 理事長)



(2) 調査の結果分析報告

柏木智子先生 (立命館大学 教授)

知念渉先生 (神田外語大学 准教授)



第2部 コメント&討論

(1) 社会的格差の視点から

中村高康先生 (東京大学 教授)

×溝上慎一先生



(2) 教育効果・高等教育論の視点から

濱中淳子先生 (早稲田大学 教授)

×溝上慎一先生



(3) 初等中等教育行政の視点から

板倉寛氏 (文化庁・前文部科学省)

×溝上慎一先生



お申し込み・お問い合わせ

当イベントは、事前申込制となっております。申込方法など詳細は、以下のWebページをご覧ください。

学校と社会をつなぐ調査 最終報告会&シンポジウム

<https://www.kawaijuku.jp/jp/research/sch/event2022/>

申込期間：2022年7月1日(金) 14:00~9月15日(木) 23:59

定員：会場参加：150名 オンライン参加：500名 ※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。



開催趣旨

河合塾と桐蔭学園理事長・溝上慎一先生は、2013年から「学校と社会をつなぐ調査」（通称：10年トランジション調査）を継続的に実施してきました。どんな高校生が大学、社会で学び・成長していくのか、高校2年時から大学、社会人3年目までの約10年間にわたって追跡し、高校と大学の接続、社会への移行（トランジション）の研究・実践への還元を目的として進めてきました。

2021年秋には社会人3年目を対象に最終調査を実施しました。そこで今回は、最終調査の分析結果に加えて、高校から大学、社会への接続に関わる研究者・実践者と溝上先生との討論を通して、この調査結果をどう捉え、今後どのように高校・大学の教育に活かしていくか、議論を深めていきます。

高校・大学教職員の方、その他の教育関係者の方のご参加をお待ちしております。

▼イベント詳細・お申し込みはこちらのURLから

<https://www.kawaijuku.jp/jp/research/sch/event2022/>

▼お問い合わせ

学校法人河合塾 教育研究開発部 学校と社会をつなぐ調査事務局

Email : kkt@kawai-juku.ac.jp

※受付時間：10:00～17:00（土日・祝日、及び年末年始・夏季休業期間は受付を行いません）

※お問い合わせの際にいただく個人情報は、お問い合わせへの対応のみに利用いたします。



ご登壇者

溝上 慎一先生

学校法人桐蔭学園 理事長、桐蔭横浜大学 教授、学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問。「学校と社会をつなぐ調査」プロジェクト企画者。京都大学博士(教育学)。専門は、青年・発達心理学、教育実践研究(学びと成長、学校から仕事・社会へのトランジション、アクティブ・ラーニングなど)。

柏木 智子先生

立命館大学産業社会学部 教授。専門は教育学、教育経営学。主な研究テーマは、社会の分断を防ぎ、公正な民主主義社会を形成する学校・地域づくり。本調査の書籍『どんな高校生が大学、社会で成長するのか』(学事出版、2015年)では、第4章「高校生の生活と意識における地域差」を担当。

知念 渉先生

神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 准教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了、博士(人間科学)。専門は、教育社会学、家族社会学。本調査の書籍『どんな高校生が大学、社会で成長するのか』(学事出版、2015年)では、第3章「ジェンダーの視点からみた高校生の生活と意識」を担当。

中村 高康先生

東京大学大学院教育学研究科 教授。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。専門は、教育社会学。戦後日本の教育と選抜の変容、高校生の進路に関する量・質混合調査等の研究に取り組む。

濱中 淳子先生

早稲田大学教育・総合科学学術院 教授。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士(教育学)。専門は、教育社会学、高等教育論。いわゆる進学校に着目し、卒業生調査を用い高校時代の経験とキャリアの関連性を分析する他、高校生の学習行動を進学校や部活動との関連から分析・発表している。

板倉 寛氏

文化庁文化経済・国際課長、内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)。1999年文部省入省。島根県教育委員会総務課長、大臣政務官秘書官、在英日本国大使館参事官、教育課程企画室長、情報教育・外国語教育課長、文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチームリーダー等を経て現職。